

埼玉大学

# 経済経営系大学院

2025年度

学生募集要項

(博士前期課程)

経済経営専攻

国際日本アジア専攻 日本アジア経済経営コース



埼玉大学大学院人文社会科学部研究科

(問い合わせ先)

〒 338-8570 さいたま市桜区下大久保 2 5 5

埼玉大学大学院人文社会科学研究所支援室 大学院係

Tel 048-858-3320

メールアドレス jinsha@gr.saitama-u.ac.jp

お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。(平日の 9 時～17 時)  
(2024 年 8 月 9 日 (金) から 2024 年 8 月 19 日 (月)、2024 年 12 月 26 日 (木)  
から 2025 年 1 月 5 日 (日) の間は閉室です。)

大学院人文社会科学研究所前期課程は、次の3専攻で構成されています。

(経済経営系)	経済経営専攻
	国際日本アジア専攻 日本アジア経済経営コース
(学際系)	国際日本アジア専攻 日本アジア文化コース
	文化環境専攻

経済経営系大学院は、人文社会科学研究所の経済経営専攻と国際日本アジア専攻日本アジア経済経営コースを両輪とする大学院の通称です。

なお、経済経営専攻では修士（経済学）または修士（経営学）のいずれかの学位を修得できます。国際日本アジア専攻日本アジア経済経営コースでは修士（経済学）を修得できません。詳しくは <https://www.eco.saitama-u.ac.jp/grad/master/index> を参照してください。

この募集要項では、経済経営系（国際日本アジア専攻日本アジア経済経営コースと経済経営専攻）の学生募集について説明しています。学際系（文化環境専攻と国際日本アジア専攻日本アジア文化コース）の学生募集については、別冊子を参照してください。

# 人文社会科学研究所 アドミッション・ポリシー

\*本冊子では国際日本アジア専攻・日本アジア経済経営コースと経済経営専攻のアドミッション・ポリシーのみ記載しています。

文化環境専攻のアドミッション・ポリシーは別冊子を参照してください。

**人文社会科学研究所（博士前期課程）では、次のような人が入学することを望んでいます。**

国際日本アジア専攻では、国際的視野からの日本とアジアに関する研究能力を養うことをめざす人、日本とアジアの文化・歴史・社会・ビジネスを理解し、国際的に活躍することをめざす人。

経済経営専攻では、社会において抱いた問題意識等を、大学の知との融合によって発展させ、理論的かつ実践的に解決することをめざす人。

**人文社会科学研究所（博士前期課程）では、上記の目標に適性をもつ人を受け入れるために、次のような入学試験を実施します。**

国際日本アジア専攻・日本アジア経済経営コース及び経済経営専攻では、面接、研究計画書、研究業績等の総合審査によって判定します。なお研究計画書は、予定している研究テーマの説明、これまでの準備状況、入学後の研究計画の記載を必要とします。

## 【重要】

博士前期課程入試については、2025 年度入試から以下の点に変更となります。

<https://www.eco.saitama-u.ac.jp/grad/news/21735#entry:21735@4:url>

# 目次

1. 募集人員等	1
2. 出願資格	2
(1) 一般入試	3
(2) 社会人入試	3
(3) 外国人留学生入試	3
(4) 外国人留学生推薦特別入試	3
(5) 学内推薦特別入試	3
(6) 英語による教育プログラム特別入試	3
3. 出願手続	4
(1) 提出書類	4
(2) 出願期間	7
(3) 出願書類送付先	7
(4) 注意事項	7
4. 入試方法ならびに入試日程	8
【第1回入試】	8
【第2回入試】	9
5. 最終合格者発表	10
6. 入学手続	11
7. 出題内容	12
* 出願資格⑨、⑩に関する出願資格審査について	13
* 個人情報の保護について	14
* 障がい等のある入学志願者の事前相談について	14
* 入試情報の開示について	15
* 研究計画書の書き方について	16
* 修士論文作成プログラムと課題研究プログラムについて	17
* 長期履修制度について	18
* 研究科教員(経済経営系)の主な研究領域	19
* 入学後のプログラムについて	20
* 一般教育訓練給付制度について	20
所定用紙	21

# 1. 募集人員等

専攻名	経済経営専攻	国際日本アジア専攻 日本アジア経済経営コース
募集人員 <sup>※1</sup>	22名	38名 <sup>※2</sup>
専門分野	経済学・経営学・会計学・法学・政治学・行政学・公共政策	
入試区分	一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・ 外国人留学生推薦特別入試・学内推薦特別入試	
第1回入試	<p>(出願期間) 2024年7月10日(水)～7月22日(月)</p> <p>(試験日) 2024年9月21日(土)、9月22日(日)</p> <p>(注) 試験日は、原則として9月21日(土)です。 ただし、志願者多数の場合は9月21日(土)、22日(日)のうちの研究科が指定する一日となります。</p>	
第2回入試	<p>(出願期間) 2024年11月11日(月)～11月22日(金)</p> <p>(試験日) 2025年2月9日(日)、10日(月)</p> <p>(予備日) 2025年2月11日(火・祝)</p> <p>(注) 試験日は、原則として2月9日(日)及び10日(月)です。 2月9日(日)、10日(月)の二日間のうちの研究科が指定する一日となります。 ただし、社会人入試での出願者については2月9日(日)にて実施します。 志願者多数となった場合は2月11日(火・祝)を加えた三日間のうちの研究科が指定する一日となります。</p>	

※1 各専攻の募集人員は、各入試区分の第1回入試及び第2回入試を合計した人数です。

※2 国際日本アジア専攻の募集人員は、日本アジア経済経営コース(経済経営系)と日本アジア文化コース(学際系)を合計した人数です。国際日本アジア専攻日本アジア文化コース(学際系)の学生募集については、別冊子を参照してください。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2025年3月までに学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに学位を授与される見込みの者
- ⑦ 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ⑨ 2025年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者（※）
- ⑩ 個別の入学試験出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者（※）

※日本の国籍を有しない者（ただし、特別永住者を除く）で、かつ出入国管理及び難民認定法において、大学院出願資格に支障のない在留資格（留学等）を有する者及び取得見込みの者は、次のいずれかの条件を満たしていることが出願には必要になります。ただし、日本の大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者、指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者は除きます。

- a （公財）日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1に合格していること
- b 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を、直近の試験を含む過去2年間（4回）のうちに受験し、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が240点以上、かつ「記述」の合計が30点以上を得ていること

・（公財）日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験（1級・N1）」については、下記に照会してください。

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

公益財団法人日本国際教育支援協会 日本語教育普及課 日本語能力試験係

電話 03-5454-5215（直通）FAX 03-5454-5235

・独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」については、下記に照会してください。

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

電話 03-6407-7457（直通）FAX 03-6407-7462

※⑨及び⑩で出願しようとする者については、あらかじめ個別の入学試験出願資格審査を行います。「出願資格⑨、⑩に関する出願資格審査について」（13 ページ参照）の書類を次の期間に本研究科に提出してください。提出は郵送のみとし、窓口では一切受け付けません。審査結果は個別に通知します。

・第1回入試：2024年6月10日（月）～2024年6月14日（金）（必着）

・第2回入試：2024年10月7日（月）～2024年10月11日（金）（必着）

## (1) 一般入試

出願時に上記出願資格のある者で日本の国籍を有している者のうち、2年以上の社会人経験がないもの(下記(2)参照)。または、出願資格のある者のうち、(2)～(6)のいずれの出願区分にも該当しない者。

## (2) 社会人入試

出願時に上記出願資格のある者のうち、2025年3月31日現在、公的機関、民間企業、NPO等の非営利組織で社会人として2年以上の経験がある者(単なるアルバイトやインターンは除く)。なお、社会人入試については、研究計画と社会人としての経験との密接な関連があることが前提であり、研究計画書に具体的な内容を記述してください。

※日本の国籍を有しない者(ただし、特別永住者を除く)で、かつ出入国管理及び難民認定法において、大学院出願資格に支障のない在留資格(留学等)を有する者及び取得見込みの者は、次のいずれかの条件を満たしていることが出願には必要になります。

- a (公財)日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1に合格していること
- b 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を、直近の試験を含む過去2年間(4回)のうちに受験し、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が240点以上、かつ「記述」の合計が30点以上を得ていること

ただし、日本の大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者、指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者は除きます。

## (3) 外国人留学生入試

出願時に上記出願資格のある者のうち日本の国籍を有しない者(ただし、特別永住者を除く)

出入国管理及び難民認定法において、大学院出願資格に支障のない在留資格(留学等)を有する者及び取得見込みの者は、次のいずれかの条件を満たしていることが出願には必要になります。

- a (公財)日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1に合格していること
- b 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を、直近の試験を含む過去2年間(4回)のうちに受験し、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が240点以上、かつ「記述」の合計が30点以上を得ていること

ただし、日本の大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者、指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者は除きます。

## (4) 外国人留学生推薦特別入試

出願時に上記出願資格のある者で、国際交流協定に基づき、国際交流協定校の推薦状を得て応募する者

※この枠での応募は、埼玉大学と国際交流協定校の間で、この枠を活用することについてあらかじめ承認されていることが必要です。

## (5) 学内推薦特別入試

5年一貫教育制度で大学院への進学を計画する者のうち、2025年3月までに埼玉大学経済学部を卒業見込みの者で、かつ演習の指導教員の推薦書を提出できる者

※学内推薦特別入試で受験し合格した者が、入学時までに埼玉大学経済学部を卒業できなかった場合には、入学手続き後であっても入学は取り消されます。

## (6) 英語による教育プログラム特別入試

別冊子を参照してください。

### 3. 出願手続

#### (1) 提出書類

(○は当該入試区分で、▽は該当者のみ必要な書類。)

提出書類	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	外国人留学生推薦特別入試	学内推薦特別入試
志 願 票	○	○	○	○	○
受験票・写真票	○	○	○	○	○
卒業(見込)証明書 成績証明書	○	○	○	○	
研究計画書	○	○	○	○	○
研究計画書要旨	○	○	○	○	○
推 薦 書				○ 推薦書 (任意様式)	○ 推薦書
学位授与証明書 又は学位授与 申請予定証明書	▽	▽	▽	▽	
在留カードの写し 又は住民票等		▽	○		
日本語能力試験 又は 日本留学試験の 成績		▽	○		
検 定 料	○	○	○	○	○
収 納 証 明 書 貼 付 用 紙	○	○	○	○	○
定 形 封 筒	○	○	○	○	○

提出書類	注意事項
志願票 受験票 写真票	所定の用紙に必要事項をもれなく記入する。志望する専攻について、第1希望の専攻には必ず丸をつけ、第2希望の専攻がある場合は、第2希望の専攻にも丸をつけること。その場合、入学試験の成績によっては第2希望の専攻に合格が認められる場合がある。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のものを使用し、受験票と写真票には同じものを貼付する。
卒業(見込)証明書 成績証明書	出身大学(学部)長等が作成したもの。 卒業証明書は取得学位名が明記されたもの、成績証明書は厳封したもの。 なお、本学を卒業見込み又卒業した者は、不要。 英語以外の外国語によるものは、日本語の訳を付けてください。また、中国の大学等(香港、マカオの大学・大学院は除く)を卒業した場合は【注1】に示す書類を提出してください。
研究計画書	所定の用紙(縦長・横書)に記入したもの。複写して5部提出。 なお、【(エ)入学後の研究計画について】は日本語で4,000字程度にまとめること。【注2】
研究計画書要旨	研究計画書(ア)～(エ)の要旨を日本語でA4判用紙(縦長・横書・任意様式)1枚にまとめたもの。複写して5部提出。
推薦書	学内推薦特別入試に出願する者は「推薦書」を使用する。外国人留学生推薦特別入試に出願する者は任意様式で作成する。
学位授与証明書 又は学位授与 申請予定証明書	学位授与機構が発行した学位授与証明書又は学位の授与を申請する予定である旨を、在籍する短期大学長又は高等専門学校長等が証明したもの。 ※出願資格②の者(大学改革支援・学位授与機構により学位を授与)のみ該当。【注3】
在留カード の写し又は 住民票等	日本の国籍を有しない者(ただし、特別永住者を除く)で、出願時に日本国内に在住している者は、在留カードの写し(裏表の両面をコピーしたもの)又は住民票(在留資格及び在留期間の明記されたもの)を提出すること。なお、出願時に日本国内に在住していない者等、出願時に在留カードの写し又は住民票を提出できない者は、パスポートの写しを提出すること。また、試験当日はパスポートを持参し係員に提示すること。
日本語能力 試験の成績	「日本語能力試験」の日本語能力認定書(写)。 ※日本の国籍を有しない者(ただし、特別永住者を除く)で、かつ出入国管理及び難民認定法において、大学院出願資格に支障のない在留資格(留学等)を有する者及び取得見込みの者のみ該当。(公財)日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1に合格したことを示す日本語能力認定書の写しを出願時に提出し、そのうえで受験時に原本を提示してください。
日本留学 試験の成績	「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書(写)または成績確認書、及び受験票(写)。 ※日本の国籍を有しない者(ただし、特別永住者を除く)で、かつ出入国管理及び難民認定法において、大学院出願資格に支障のない在留資格(留学等)を有する者及び取得見込みの者のみ該当。独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を、直近の試験を含む過去2年間(4回)のうちに受験し、「読解」・「聴解」・「聴読解」の合計が240点以上、かつ「記述」の合計が30点以上を得たことを示す日本留学試験成績通知書の写し、または「成績確認書(「EJU オンライン」出願・成績確認ページから印刷したもの)」を出願時に提出し、そのうえで受験時に原本を提示してください。
検定料	30,000円 コンビニエンスストアから払い込む。 最終ページの「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期に検定料を払い込むこと(出願期間前でも可)。 ※海外からの出願者のみクレジットカードが利用可能。詳細は大学院係へ問い合わせること。
収納証明書 貼付用紙	所定の用紙に、検定料を振り込んだコンビニエンスストアで受け取った「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を貼付したもの。
定形封筒	受験票送付用。封筒(定形長形3号、12.0cm×23.5cm)に宛先を明記し、354円切手(速達料金)を貼付。 なお、郵便料金の改定があった場合は、改定後の切手(定形50g以内+速達料金)を貼付してください。

## <提出書類に関する注意事項>

\* 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、本研究科の行う入学試験の受験を許可しないことがあります。また、入学後でも入学を取り消すことがあります。

【注1】 提出書類（卒業証明書、成績証明書等）のうち日本語及び英語以外の言語によるものは、日本語の訳を付けてください。なお、中国の大学等を卒業した場合（香港、マカオの大学・大学院は除く）は、以下に従ってください。

### 中国の大学等を卒業した場合 (香港、マカオの大学等は除く)

・学位取得証明書・成績証明書の提出にあたっては原本に加えて、以下の証明書も提出してください。

#### (1) 学位取得証明書

A または B の手続きが必要です。

(A) 所属大学・大学院より発行された中国語の証明書に翻訳公証を添付（この場合、「中国語の原本」「翻訳文」「翻訳公証書」の3点を提出）

(B) 中国高等教育学生信息网（CHSI）または CHSI 日本代理機構が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」のコピーを出願書類に同封し、出願締切日までに電子認証報告メールが CHSI から直接、埼玉大学（jinsha@gr.saitama-u.ac.jp）に送信されるように手配してください。

#### (2) 成績証明書

A または B の手続きが必要です。

(A) 所属大学・大学院より発行された中国語の証明書に翻訳公証を添付（この場合、「中国語の原本」「翻訳文」「翻訳公証書」の3点を提出）

(B) 中国高等教育学生信息网（CHSI）または CHSI 日本代理機構が発行する英文の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のコピーを出願書類に同封し、出願締切日までに電子認証報告メールが CHSI から直接、埼玉大学（jinsha@gr.saitama-u.ac.jp）に送信されるように手配してください。

・申請に関する詳細については、各認証機関のウェブサイトでご確認ください。  
・十分な時間的余裕を持って申請してください。各認証機関の発行の遅れによって提出が間に合わない受験を認めない可能性があります。  
※志願者本人が受信した電子認証報告メールの転送は認められません。必ず、認証機関から埼玉大学へメールが直接送信されるように手配してください。

【注2】 「研究計画書の書き方について」（16 ページ）を参照してください。

【注3】 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を速やかに提出してください。なお、学位取得見込者で学位授与申請を行わなかった場合、その他学士の学位を得られないこととなった場合には、その旨を、在籍する短期大学長又は高等専門学校長等を通じ、速やかに本学へ通知してください。

## (2) 出願期間

第 1 回入試	2024 年 7 月 10 日 (水) ~ 2024 年 7 月 22 日 (月) (必着)
第 2 回入試	2024 年 11 月 11 日 (月) ~ 2024 年 11 月 22 日 (金) (必着)

出願は郵送のみとし、窓口では一切受け付けません。

郵送はレターパックを使用するか、書留郵便として、封筒の表に「人文社会科学研究科（経済系）入学志願書類在中」と記載してください。なお、出願期間外に到着した書類は受け付けません。

## (3) 出願書類送付先

〒 338-8570 さいたま市桜区下大久保 2 5 5  
埼玉大学大学院人文社会科学研究科支援室大学院係（経済系）

## (4) 注意事項

1. 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できませんので、出願の際にはチェックリストを使用し十分確認してください。
2. 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。  
ただし、次の場合は検定料の返還請求ができます。
  - ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
  - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
  - ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

返還請求の方法及び「返還請求書」（本学様式）は、本学ホームページの「入試情報」（入試情報欄：検定料等の返還について）に掲載していますので、その説明にしたがい速やかに手続きしてください。返還には、返還請求書を受理後 2 ヶ月程度かかります。

[https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/](https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/)

問合せ先：埼玉大学財務部経理課出納担当 TEL 048-858-3942

3. 検定料の免除について  
2024年4月1日から出願時まで、学資負担者が災害救助法適用地域で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。  
検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。）  
なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。
4. 出願手続後の願書記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号、メールアドレスに変更があった場合には、大学院係まで必ず連絡してください。
5. 提出書類の記載事項と事実とが相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
6. 出願手続等に不明な点がある場合は、大学院係に照会してください。ただし、試験内容に関する問い合わせには一切応じられません。

## 4. 入試方法ならびに入試日程

### 【第1回入試】

#### (1) 入試方法

##### 1) 一般入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

##### 2) 社会人入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

##### 3) 外国人留学生入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

##### 4) 外国人留学生推薦特別入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

##### 5) 学内推薦特別入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

#### (2) 入試日程ならびに試験科目

##### 一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・外国人留学生推薦特別入試・学内推薦特別入試

##### 1) 提出書類等審査

提出された研究計画書等を基に、以下の視点で審査を行います。

- ・これまでの大学学部レベル等での学習経験（社会人の場合はこれまでの実務経験）により研究計画を遂行できる十分な学術的知見と研究能力を有しているか。
- ・研究計画は明確で十分な実行可能性を有しているか。

提出書類等の審査の合否結果については、下記面接試験の1週間前までを目途に受験者に郵送にて通知します。また、研究科ホームページ上に合格者受験番号を発表します。

##### 2) 面接試験

期 日	2024年9月21日（土）、9月22日（日）
時 間	提出書類等の審査結果合格通知において、出願者に通知します。

※ 面接日は、原則として9月21日（土）です。

ただし、志願者多数の場合は9月21日（土）、22日（日）の二日間のうちの研究科が指定する一日となります。

#### (3) 試験会場

埼玉大学内（詳細は提出書類等の審査結果合格通知に同封の「受験案内」で確認してください。）

## 【第2回入試】

### (1) 入試方法

#### 1) 一般入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

#### 2) 社会人入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

#### 3) 外国人留学生入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

#### 4) 外国人留学生推薦特別入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

#### 5) 学内推薦特別入試

入学者の選抜は、提出書類等を審査のうえ、合格者に対して面接試験を行い、それらの結果を総合して判定します。

### (2) 入試日程ならびに試験科目

#### 一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・外国人留学生推薦特別入試・学内推薦特別入試

#### 1) 提出書類等審査

提出された研究計画書等を基に、以下の視点で審査を行います。

- ・これまでの大学学部レベル等での学習経験（社会人の場合はこれまでの実務経験）により研究計画を遂行できる十分な学術的知見と研究能力を有しているか。
- ・研究計画は明確で十分な実行可能性を有しているか。

提出書類等の審査の合否結果については、下記面接試験の1週間前までを目途に受験者に郵送にて通知します。また、研究科ホームページ上に合格者受験番号を発表します。

#### 2) 面接試験

期 日	2025年2月9日（日）、2月10日（月）、2月11日（火・祝）
時 間	提出書類等の審査結果合格通知において、出願者に通知します。

※ 面接日は、原則として2月9日（日）及び10日（月）で、この二日間のうちの研究科が指定する一日となります。

ただし、社会人入試での出願者については2月9日（日）にて実施します。

志願者多数の場合は2月11日（火・祝）を加えた三日間のうちの研究科が指定する一日となります。

### (3) 試験会場

埼玉大学内（詳細は提出書類等の審査結果合格通知に同封の「受験案内」で確認してください。）

## 5. 最終合格者発表

### (1) 発表日時

第1回入試	2024年10月25日（金） 14時（予定）
第2回入試	2025年2月28日（金） 14時（予定）

### (2) 発表方法

合格者の受験番号は研究科ホームページ上でのみ発表します。  
掲示は行いません。

※合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送します。

## 6. 入学手続

(1) 手続方法 郵送による

(2) 手続期限

第1回入試合格者	2024年11月25日(月) 必着
第2回入試合格者	2025年3月14日(金) 必着

(3) 提出書類

- a. 埼玉大学大学院人文社会科学研究科受験票
- b. その他、本学の指定する書類等(合格者に通知します)

(4) 納付金 入学料が282,000円、授業料は(前期分)267,900円、(年額)535,800円。【予定額】

- 1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付できます。
- 2 前期授業料について、入学手続時に納付しないときは2025年4月中に納付することになります。  
入学手続を行った者が2025年3月31日(月)17時までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、当該授業料相当額を返還します。
- 3 入学時には入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料など、若干の諸経費が必要となります。
- 4 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考のうえ、免除又は徴収を猶予する制度があります。なお、詳細については合格者に通知します。
- 5 指定の期日までに入学手続を行わなかった者は、入学辞退者として取り扱います。
- 6 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(5) 長期履修制度について

本研究科には、長期履修制度があります。

「長期履修制度」(18ページ参照)とは、学生が、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、審査のうえ「長期履修学生」としてその計画的な履修を認め、授業料の納付額も変えることのできる制度です。

## 7. 出題内容

### (1) 第1回入試

専 門 分 野	内 容
経 済 学 経 営 学 会 計 学 法 治 学 政 政 学 行 政 学 公 共 政 策 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究計画書等に基づく書類審査及びその合格者に対する面接試験</li> </ul>

### (2) 第2回入試

専 門 分 野	内 容
経 済 学 経 営 学 会 計 学 法 治 学 政 政 学 行 政 学 公 共 政 策 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究計画書等に基づく書類審査及びその合格者に対する面接試験</li> </ul>

## \* 出願資格⑨、⑩に関する出願資格審査について

### ○出願資格⑨で出願しようとする者【注1】

- (1) 入学試験出願資格個別審査申請書・・・・・・・・・・・・・・・・（所定用紙）
- (2) 成績証明書【注2】
- (3) 在籍証明書（在籍期間の日付が記載されたもの）【注2】
- (4) 受験承諾書（学長又は学部長）・・・・・・・・・・・・・・・・（様式任意）
- (5) 本研究科で学びたい分野に関連する自書論文（日本語で7,000字以上）

### ○出願資格⑩で出願しようとする者

- (1) 入学試験出願資格個別審査申請書・・・・・・・・・・・・・・・・（所定用紙）
- (2) 成績証明書【注2】
- (3) 卒業証明書又は在籍証明書（入学から卒業までの日付が記載されたもの）【注2】
- (4) 本研究科で学びたい分野に関連する自書論文（日本語で7,000字以上）

### 【注1】 上記の出願資格⑨に関する個別審査基準

次の1～2の全てに該当する者

1. 出願時において大学の3年次に在学し、入学時に在学期間が3年間（休学期間は除く）に達する者
2. 3年次前期修了時に4.0スケールでGPA3.0以上であること。

ただし、次の事項に注意してください。

- (a) 入学試験に合格した者が、上記1及び2に定める所定の単位と成績を得られないときは合格を取り消します。
- (b) 本出願資格により入学する者は、学部学生としての学籍上の身分は退学となります。したがって学部卒業が要件となる各種資格及び受験資格はなくなりますので十分注意してください。

【注2】 「成績証明書」、「卒業証明書」及び「在籍証明書」に関しては、入学試験出願資格審査の際の提出書類は写しでも可。ただし、出願時には原本を提出してください。

※ 不明な点は、大学院係に問い合わせてください。

## \* 個人情報の保護について

出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務のみに使用します。

ただし、入学者のみ（１）教務関係（学籍、修学指導等）、（２）学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、（３）授業料徴収に関する業務を行うために使用します。

## \* 障がい等のある入学志願者の事前相談について

### 1. 障がい等のある方〔体幹及び両上下肢の機能障がい著しい者で、代筆解答を希望する者（以下「代筆解答希望者」という。）を含む。〕の受験上及び修学上の配慮

- （１）障がい等のある方（代筆解答希望者を含む。）が受験上の配慮を希望する場合には、本人又は代理人からの申請に基づき、障がいの種類・程度に応じて本研究科が審査のうえ、受験に際して特別の配慮を行います。
- （２）受験上及び修学上の配慮を希望する方は、本学所定の申請用紙「埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書」（以下、「配慮申請書」という。）により、出願の前にあらかじめ本研究科に申し出てください。

申請用紙は、埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。

[https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf](https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf)

- （３）受験上及び修学上の配慮について質問がある場合は、大学院係に問い合わせください。

メールアドレス：jinsha@gr.saitama-u.ac.jp

### 2. 申請書提出時期

第1回入試は2024年8月26日（月）、第2回入試は11月28日（木）を目安としますが、それ以降でも相談が可能な場合に限り対応いたします。

### 3. 申請の方法

配慮申請書に診断書（発行後6ヶ月以内の原本）を添えて提出することとし、必要な場合は、本研究科において当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談をすることがあります。

### 4. その他

この申請で受験許可を得た方は、出願書類を郵送後、その旨を上記の連絡先へ連絡してください。

この申請で受験許可を得た方が、出願を辞退、若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記連絡先へ連絡してください。

## \* 入試情報の開示について

### 1. 開示する情報

書類審査及び面接試験（該当者のみ）の得点

### 2. 開示請求方法

#### (1) 開示対象者等

本募集要項による入試を受験し、不合格になった者を対象とし、請求は受験者本人に限ります。

#### (2) 請求方法

「埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書」（本学生募集要項に添付）、返信用封筒（長形3号封筒に本人の住所、氏名を明記し、簡易書留郵便分434円（※）の切手を貼付）及び受験票を同封してください（受験票を紛失した場合は、本人と確認できる身分証明書等〔運転免許証の写し、パスポートの顔写真及び住所の記載された箇所写し等〕を同封してください）。封書には「大学院入試情報開示請求」と朱書してください。

提出は郵送のみとし、窓口では一切受け付けません。

※郵便料金の改定があった場合は、改定後の切手（定型25g以内+簡易書留料金）を添付してください。

#### (3) 請求期間

2025年5月12日（月）～5月16日（金）

#### (4) 請求先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保2-5-5  
埼玉大学大学院人文社会科学研究科支援室大学院係

#### (5) 開示方法

郵送で開示します。

## \* 研究計画書の書き方について

研究計画書は、大学院に入学するための準備状況から大学院修了時の到達目標までを面接担当者にアピールするものです。特に本学経済経営系大学院は、どのような専攻であれ大学学部を卒業した後に、新たに本学大学院で扱う経済経営系分野について初歩から「学ぶ」ところではなく、経済経営系分野について「自分がこれまで何を学んできたか」を前提にして、研究課題を自ら設定し、先行研究を踏まえ、自ら仮説を立て、その検証のための理論モデルの構築やデータ分析を行い、その結論を提示するという「研究」を行う場です。研究計画書は出願者の皆さんがこのような大学院における「研究」を行うに足る能力と構想を有しているかを判断するものです。

また、大学院の「研究」の入口にいることを十分に自覚し、下記 5. に記載のような学術論文のルールを順守して研究計画を作成してください。

書類審査及び面接試験では、この研究計画書に基づき、研究能力と研究テーマの実現可能性及び明確性の 2 つの観点から採点します。他人の文章のコピーを提出するといった不正行為には厳正に対処します。

研究計画書の作成にあたっては、書類審査及び面接における評価にあたって重要な材料となるので、以下の各項目に掲げる全ての事項をもれなく、具体的に記述してください。

### 1. 研究テーマの概要

大学院で研究したいテーマの概要を説明してください。

### 2. 研究テーマの具体的な説明

大学院で研究したいテーマを選ぶ理由、そのテーマを研究することの意義、研究の内容などを論述してください。

研究にあたって、どのような仮説を立てるのか、さらに、その仮説は先行研究等に照らしてどのような学問的意味があるのかを説明してください。また、仮説を検証していくのに、どのようなデータや理論的枠組み、分析手法を使うのかについても説明してください。

### 3. 入学後の研究計画

大学院入学から大学院修了までの計画を順序立てて説明してください。どのような基礎的勉強をするか、取り上げたテーマについて、原則 2 年間の在学期間のなかでどのようなタイムテーブルで研究を進めていくのか、など。

### 4. 研究計画を遂行するにあたって基盤となる学術・実務上の実績について

①研究計画書において、大学学部等でこれまで履修した科目や、自主学習等で学んだことにより、研究計画の遂行にあたって基盤となる学術的・実務上の知見を十分に有していることを示してください。

また、計量モデル分析やアンケート調査結果に基づくデータ分析を計画しているのであれば、モデル・データ分析のこれまでの経験（使用したデータ、手法やソフトウェア等）についても説明してください。

さらに、アンケート調査を計画しているのであれば、具体的な調査方法について記載してください。

②特に、社会人入試枠受験生については、研究計画と関連する実務経験とそこから得た知見について具体的な内容を記述してください。

③P19 にある「研究科教員（経済経営系）の主な研究領域」の教員リストの中から主指導を希望する教員を選択して、その理由も具体的に示してください。

### 5. 形式面の留意事項

研究計画書においては、自分の知見と他人の知見が混同されず、明確に区別されることが必要です。新聞・雑誌・インターネットの無記名記事や公的機関の報告書・統計資料なども含めて、参考文献は必ず明示し、引用（抜き書き）や参照（参考文献の内容を自分の言葉で紹介すること）をした場合は必ず明示してください。引用の際は、参考文献の著者名等だけでなく原文のページ数まで書き、引用文がどこからどこまでかを「 」等で明示してください。参考文献を明示する方法は次のどちらでもかまいません。

(1)本文中に注を付け、そこで参考文献の著者名、表題、出版社名、発行年などを書く。

(2)末尾に参考文献リストを付け、(1)で挙げた事項を書く。本文中の引用または参照箇所では参考文献を指示する。

## \* 修士論文作成プログラムと課題研究プログラムについて

課題研究プログラムは、コースワークを重視するもので、従来の修士論文に代わる課題レポートの提出により修士の学位を取得できます。経済学もしくは経営学に関する専門的な知見を幅広くかつ体系的に修得しようとする方を対象にするものです。

入試では研究能力と研究テーマの明確性の 2 つの観点から合否を判定しますが、研究能力が合格レベルに達した方は課題研究プログラムに参加できることになります。研究能力に加えて研究テーマの明確性も合格レベルに達した方は修士論文作成プログラムと課題研究プログラムの中から参加するプログラムを選択できることになります。

### 課題研究プログラムの主な内容

- 基礎科目、および専門科目から 18 単位以上の履修。  
※修了要件は、ほかに研究指導 2 単位を含む合計 30 単位
- 2 本の課題レポート合格
- 指導教員 1 名による学修サポート
- 修士論文作成プログラムへの変更は不可

## \* 長期履修制度について

本研究科には長期履修制度があります。

### 1. 長期履修制度とは

博士前期課程では2年が標準修業年限となっています。ここで、博士前期課程を3年で修了する計画の大学院学生は、入学時に申請し、この制度を適用すれば修了までに標準修業年限分の授業料を納めればよいこととなります。(2年分の授業料総額÷3の授業料を毎年納めればよいこととなります【注】参照)。職業を持ちながら就学している方、家事・育児・介護をしている方などの便宜を考えた制度です。

**【注】**入学後に長期履修を申請し、認められた場合は2年分の授業料以上の金額を納入しなければならない場合があります。

### 2. 長期履修制度への申請資格

次の(1)及び(2)を充たすことが申請の条件です。

(1) 次のいずれかであること

- a) 新たに大学院人文科学研究科に入学(進学を含む)する者
- b) 既に入学し、入学後1年未満である者

(2) 次のいずれかに該当し、標準修業年限内での修学が困難であること

- a) 職業を有し、就業している者(自営業及び臨時雇用(単発的なものを除く。))を含む)
- b) 家事、育児、介護等の事情を有する者
- c) 身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む。)その他の心身の機能の障がいがあるため長期にわたり修学に相当な制限を受けると認められる者
- d) その他学長が相当と認めた者

### 3. 長期履修を認める期間

長期履修を認める期間の上限は、入学から通算して4年です。

### 4. その他

申請者は決められた期間に必要な書類を提出し、審査を受けなければなりません。長期履修を認められた後に履修期間を変更する申請をすることもできます。本制度の趣旨に沿わない理由での申請は対象外となります。

## \* 研究科教員(経済経営系)の主な研究領域

専任教員	主な研究領域
青木 恵子	実験経済学
浅田 英克	国際経済論、Economic Policies
有賀 健高	環境政策論
井原 基	国際経営、国際マーケティング
宇田川元一	経営戦略論
内田奈芳美	都市計画、都市論
江口 幸治	民法、土地法、農業法
大石 直樹	日本経営史
大津 唯	社会保障論
大仲 千華	Public Policies
岡部 正義	開発経済学、教育経済学、フィリピン社会経済論
長田 健	金融論
加藤 敬太	経営組織論
金井 郁	労働経済論
禿 あや美	雇用関係論
川端 庸子	国際マーケティング論
栗島 智明	行政法理論
木暮 美菜	マーケティング論、消費者心理学
澤井 康毅	財務会計論
芝 園子	商法、会社法、金融商品取引法
島田 佳憲	コーポレートガバナンスと会計
末松栄一郎	管理会計論
杉崎 弘	経済法
頭士奈加子	コーポレートファイナンス
石 瑾	サプライチェーン・マネジメント
高端 正幸	財政学
高松 亮	計量言語学
中川 忍	日本経済論
朴 英元	国際経営戦略、国際技術経営戦略、IT 戦略
藤井まなみ	国際民事手続法、国際取引法
丸茂 幸平	数理統計学、金融リスク計量、数理ファイナンス
水村 典弘	「企業と社会」論

宮崎 雅人	地方財政論、財政学
柳澤 哲哉	経済学史
結城 剛志	政治経済学
李 潔	国民経済計算、産業連関分析

※各教員のプロフィールについては「埼玉大学研究者総覧」（下記 URL）から検索できます。

<https://s-read.saitama-u.ac.jp/researchers/>

## \* 入学後のプログラムについて

経済経営専攻は、修士論文作成プログラム・課題研究プログラム・インテンシブプログラムの3プログラムより成り立っています。

国際日本アジア専攻日本アジア経済経営コースは、修士論文作成プログラム・課題研究プログラムの2プログラムより成り立っています。

詳細は、経済経営系大学院修士プログラムのページ（下記 URL）をご覧ください。

<https://www.eco.saitama-u.ac.jp/grad/master/index>

## \* 一般教育訓練給付制度について

経済経営専攻は、一般教育訓練給付制度に指定されています。  
詳細は、経済経営系大学院のページ（下記 URL）をご覧ください。

<https://www.eco.saitama-u.ac.jp/grad/about/benefit>

# 所 定 用 紙

## <記入上の一般的な注意事項>

1. 各用紙は折らないでください。
2. Word 版を下記 HP にて公開しております。Word にて作成し印刷した書類を提出するか、直筆にて作成する場合は黒のペン又はボールペンを使用し、文字は楷書、数字は 1.2.3.……の算用数字を用いて、ていねいに記入してください。  
<https://www.eco.saitama-u.ac.jp/grad/examination/master>
3. 該当個所にもれなく記入、又は○で囲んでください。また※欄は記入しないでください。
4. 年月日等を記入する欄は、西暦を基本としますが、平成・令和等の元号で記入しても差し支えありません。
5. 出願手続後の願書記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号、メールアドレスに変更があった場合には、大学院係まで必ず連絡してください。
6. 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、本研究科の行う入学試験の受験を許可しないことがあります。また、入学後でも入学を取り消すことがあります。



# 志 願 票

## ＜志願票の記入に関する注意事項＞

1. 【氏名欄】

氏名が改姓により成績証明書等と異なる者は、( )内に「旧姓」等を併せて記入してください。

2. 【入試区分及び専攻欄】

出願する専攻の該当する入試区分の番号いずれか一つを○で囲んでください。

該当する入試区分いずれか一つを○で囲んでください。専攻については、第1希望の専攻を必ず○で囲み、第2希望の専攻がある場合には、第2希望の専攻も○で囲んでください。

3. 【指導教員】

現段階で希望する指導教員がいる場合は、その教員名を記入してください（2名まで）。

4. 【現住所欄】

出願後連絡を受けることのできる住所を記入してください。

5. 【合格通知書受信場所欄】

合格通知書等を確実に受信できる住所を記入してください。提出後、変更のある場合は、直ちに連絡してください。

6. 【学歴欄】・【職歴欄】

小学校から現在（出願時）に至るまでの経歴について詳記してください。

7. 【日本語の学習歴欄】・【自国語氏名欄】・【ローマ字氏名欄】・【自国の住所欄】

外国籍の方のみ記入してください。



# 第1回入試用

埼玉大学大学院人文社会科学研究科 博士前期課程

## 2025年度 志 願 票

フリガナ				※ 受験番号
氏 名				(記入しないこと)
(フリガナ)				生 年 月 日
(旧姓)				年 月 日 生
				性 別
				男 ・ 女

入試区分及び専攻 (該当する入試区分1つを○で囲むこと。専攻については、第1希望を必ず○で囲み、第2希望がある場合には、第2希望の専攻も○で囲むこと。)

入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 外国人留学生・ 外国人留学生推薦特別入試 ・ 学内推薦特別入試		
専攻	第1希望	経済経営専攻・国際日本アジア専攻 (日本アジア経済経営コース)	
	第2希望	経済経営専攻・国際日本アジア専攻 (日本アジア経済経営コース)	

### 出身大学等

大 学	学 校 名	国立・公立・私立			大学
	卒 業 (見込)	年 月 日			学部 学科 (課程) 卒業・卒業見込
大 学 院	学 校 名	国立・公立・私立			大学大学院
	卒 業 (見込)	年 月 日			研究科 専攻 修了・修了見込
希望する指導教員名 (2名まで記入可)					
現 住 所	〒	都・道・府・県			郡・市・区 町・村
	TEL	— — メールアドレス			
合格通知書受信場所	〒	都・道・府・県			郡・市・区 町・村
	TEL	— —			



## 第2回入試用

埼玉大学大学院人文社会科学部 博士前期課程

### 2025年度 志 願 票

フリガナ		※ 受験番号  (記入しないこと)				
氏 名						
(フリガナ)		生 年 月 日	年	月	日	生
(旧姓)		性 別	男 ・ 女			

**入試区分及び専攻** (該当する入試区分1つを○で囲むこと。専攻については、第1希望を必ず○で囲み、第2希望がある場合には、第2希望の専攻も○で囲むこと。)

入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 外国人留学生入試 ・ 外国人留学生推薦特別入試 ・ 学内推薦特別入試					
専攻	第1希望	経済経営専攻・国際日本アジア専攻 (日本アジア経済経営コース)				
	第2希望	経済経営専攻・国際日本アジア専攻 (日本アジア経済経営コース)				

#### 出身大学等

大 学	学 校 名	国立・公立・私立				大学
	卒 業 (見込)	年	月	日	卒業・卒業見込	学部 学科 (課程)
大 学 院	学 校 名	国立・公立・私立				大学大学院
	卒 業 (見込)	年	月	日	修了・修了見込	研究科 専攻
希望する指導教員名 (2名まで記入可)						
現 住 所		〒	都・道・府・県	郡・市・区	町・村	
		TEL	—	—	メールアドレス	
合格通知書受信場所		〒	都・道・府・県	郡・市・区	町・村	
		TEL	—	—		



# 第1回入試用

# 受験票・写真票

## <受験票・写真票の記入に関する注意事項>

### 1. 【入試区分及び専攻欄】

〔志願票〕で選択した入試区分と、第1希望の専攻を必ず○で囲み、第2希望の専攻がある場合には、第2希望の専攻も○で囲むこと。

### 2. 【日本語資格欄】

日本の国籍を有しない等該当する者は、日本語資格名（日本語能力試験、日本留学試験のいずれか）を記入してください。

2025年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究所  
博士前期課程

## 受験票

受験番号	※ (記入しないこと)	
フリガナ		
氏名		
入試区分及び専攻	入試区分 (該当する項目1つを○で囲むこと。)	
	一般入試 外国人留学生推薦特別入試 社会人入試 学内推薦特別入試 外国人留学生入試	
	専攻 (該当する項目を○で囲むこと。)	
	第1希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻	第2希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻
日本語資格	(日本の国籍を有しない等の該当者のみ)	
写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの 縦4cm・横3cm		
1. 受験の際は、この受験票を必ず持参してください。 2. この受験票は入学時まで保存してください。		

2025年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究所  
博士前期課程

## 写真票

受験番号	※ (記入しないこと)	
フリガナ		
氏名		
入試区分及び専攻	入試区分 (該当する項目1つを○で囲むこと。)	
	一般入試 外国人留学生推薦特別入試 社会人入試 学内推薦特別入試 外国人留学生入試	
	専攻 (該当する項目を○で囲むこと。)	
	第1希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻	第2希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻
日本語資格	(日本の国籍を有しない等の該当者のみ)	
写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの 縦4cm・横3cm		

きりとならないこと



## 第2回入試用

## 受験票・写真票

### <受験票・写真票の記入に関する注意事項>

#### 1. 【入試区分及び専攻欄】

〔志願票〕で選択した入試区分と、第1希望の専攻を必ず○で囲み、第2希望の専攻がある場合には、第2希望の専攻も○で囲むこと。

#### 2. 【日本語資格欄】

日本の国籍を有しない等該当する者は、日本語資格名（日本語能力試験、日本留学試験のいずれか）を記入してください。

----- き り と ら な い こ と -----

2025年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究所  
博士前期課程

### 受験票

受験番号	※ (記入しないこと)	
フリガナ		
氏名		
入試区分及び専攻	入試区分 (該当する項目1つを○で囲むこと。)	
	一般入試 外国人留学生推薦特別入試 社会人入試 学内推薦特別入試 外国人留学生入試	
	専攻 (該当する項目を○で囲むこと。)	
	第1希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻	第2希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻
日本語資格	(日本の国籍を有しない等の該当者のみ)	
写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの 縦4cm・横3cm		
1. 受験の際は、この受験票を必ず持参してください。 2. この受験票は入学時まで保存してください。		

2025年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究所  
博士前期課程

### 写真票

受験番号	※ (記入しないこと)	
フリガナ		
氏名		
入試区分及び専攻	入試区分 (該当する項目1つを○で囲むこと。)	
	一般入試 外国人留学生推薦特別入試 社会人入試 学内推薦特別入試 外国人留学生入試	
	専攻 (該当する項目を○で囲むこと。)	
	第1希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻	第2希望 経済経営専攻 国際日本アジア専攻
日本語資格	(日本の国籍を有しない等の該当者のみ)	
写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの 縦4cm・横3cm		

き  
り  
と  
ら  
な  
い  
こ  
と





(研究計画書)

**イ) 主指導教員の希望とその理由について**

P21-22 に掲載した研究科教員（経済経営系）の主な研究領域及び、研究者総覧 ([https://s-read.saitama-u.ac.jp/researchers/search/list\\_page/top/人文社会科学研究科/](https://s-read.saitama-u.ac.jp/researchers/search/list_page/top/人文社会科学研究科/)) を参考に、希望する主指導教員及びその理由について記述してください。

主指導希望教員：

理由：

**ウ) 英語や各種検定試験の成績等について**

研究計画の遂行に寄与する、

- ・ 英語の各種検定試験（TOFEL, IELTS, TOEIC 等）
  - ・ 経済経営分野に関連する各種検定試験（経済学検定（ERE ミクロ・マクロ）、マネジメント検定、統計検定等）
  - ・ その他、経済経営分野に関する公的資格 等
- について、該当があれば具体的に記載のうえ、成績表等の証明（コピー可）とともに提出してください。





# 推 薦 書 (学内推薦特別入試用)

埼玉大学大学院人文社会科学研究科 (博士前期課程)

フリガナ	
氏 名	年 月 日生
推 薦 理 由	

本書のとおり推薦します。

年 月 日

演習指導教員

印

※「学内推薦特別入試」での出願を希望する者のみ提出してください。



# 入学試験出願資格個別審査申請書

年 月 日

埼玉大学大学院人文社会科学研究科長 殿

私は、出願資格の個別審査を受けたいので、申請いたします。

<b>出願資格</b> (該当する出願資格を○で囲むこと)	出願資格⑨ / 出願資格⑩
<b>志望専攻</b> (該当する志望専攻を○で囲むこと)	経済経営専攻 / 国際日本アジア専攻 日本アジア経済経営コース
フリガナ	
<b>氏名</b>	
<b>生年月日</b>	年 月 日
<b>現住所</b>	〒 TEL - -
<b>連絡先</b>	〒 TEL - -
<b>添付書類</b>	「出願資格⑨、⑩に関する出願資格審査について」(13ページ)の記載事項を確認し、提出する書類に○を付けてください。 ・成績証明書 ・卒業証明書 ・在籍証明書 ・受験承諾書 ・論文



# 収納証明書貼付用紙

## 収納証明書貼付欄

コンビニエンスストアで受け取った取扱明細書または取扱明細書兼領収書から「**収納証明書**」部分を切り取り、点線の中にはがれないようにしっかりと貼り付けること。

※「感熱・感圧などを変色させることがあります」と記載のある糊は使用しないこと。

大学使用欄

※ 経理課確認欄	※ 研究科受付欄



# 出願書類 チェックリスト

※このチェックリストも、提出書類確認後同封してください。

提出書類	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	外国人留学生推薦入試	学内推薦特別入試	備考
志願票						
受験票・写真票						
卒業(見込)証明書						<input type="checkbox"/> 本学を卒業見込み又卒業した者は不要 <input type="checkbox"/> 英語以外の外国語の場合は日本語の訳をつけること <input type="checkbox"/> 中国の大学・大学院を卒業した者は P7【注1】の書類を手配のこと
成績証明書						<input type="checkbox"/> 成績証明書は厳封したもの <input type="checkbox"/> 本学を卒業見込み又卒業した者は不要。 <input type="checkbox"/> 英語以外の外国語→日本語の訳 <input type="checkbox"/> 中国の大学・大学院を卒業した者は P7【注1】の書類を手配のこと
研究計画書						<input type="checkbox"/> 指定様式で全ての項目について作成すること <input type="checkbox"/> 複写して合計5部同封すること
研究計画書要旨						<input type="checkbox"/> 任意様式 <input type="checkbox"/> 複写して合計5部同封すること
推薦書						<input type="checkbox"/> 外国人留学生推薦特別入試に出願する者は任意様式 <input type="checkbox"/> 学内推薦特別入試に出願する者は「推薦書」を使用
学位授与証明書 又は学位授与 申請予定証明書	▽	▽	▽	▽		
在留カードの写し 又は住民票等		▽				<input type="checkbox"/> 在留資格及び在留期間の明記されたもの <input type="checkbox"/> ↑がない場合パスポートの写し
①日本語能力試験(N1)の成績 ②日本留学試験の成績		▽				<input type="checkbox"/> ① N1 写し <input type="checkbox"/> ② 「日本留学試験成績通知書の写し」または「日本留学試験成績確認書」及び受験票(写)
収納証明書貼付用紙						<input type="checkbox"/> 収納証明書を貼付済みであること
定形封筒						<input type="checkbox"/> 354 円切手(速達料金)が貼付済みであること (郵便料金が改訂された場合改定後の切手(定形 50g 以内+速達料金)を貼付のこと)



2025 年度  
埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）  
入試情報開示請求書

年 月 日

埼玉大学大学院人文社会科学研究科長 殿

申請者  
(〒 \_\_\_\_\_ )

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

下記のとおり、入学試験の成績について情報開示を申請します。

記

受験番号	
第1希望の専攻	専攻
情報開示を申請する内容	<input type="checkbox"/> 第1回入試：書類選考・面接試験（該当する場合）の得点 <input type="checkbox"/> 第2回入試：書類選考・面接試験（該当する場合）の得点 (請求する入試にチェックしてください。)

【注】 1. 請求する際は、本人確認のため受験票を同封してください（受験票を紛失した場合は、本人と確認できる身分証明書等の写し〔運転免許証の写し、パスポートの顔写真及び住所の記載された箇所等の写し等〕を同封すること）。また、返信用封筒（本人の住所・氏名を明記の上、簡易書留郵便とし、434円分の切手を貼った長形3号〔12×23.5cm〕封筒）も同封してください。なお、郵便料金の改定があった場合は、改定後の切手（定型25g以内+簡易書留料金）を添付してください。

2. 本募集要項による入試を受験し、不合格になった者で希望者のみ申請してください。

※ 埼玉大学記入欄

確認 1. 受験票  
2. 身分証明書( )

受理日 年 月 日

受付番号
------



# コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

## お申込みの前に

お支払い手続きの途中で「8桁の番号」の入力が求められます。  
 出願書類に記載したいずれかの電話番号の下8桁を入力してください。  
 例：07012345678 の場合 → 12345678  
 0481234567 の場合 → 81234567

電話番号メモ  
(8桁)

下記のコンビニ端末にてお支払いください

## 1 お申込み



### マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON



<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、  
小・中・高校等お支払い

埼玉大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

## 2 お支払い

### ① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、  
**30分以内にレジにてお支払いください。**



### ② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



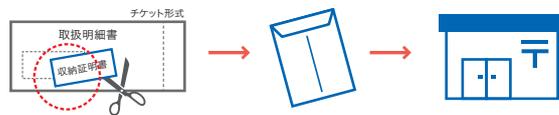
\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
 \*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
 \*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	550円(税込)
-------	-------------	----------

## 3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の  
 「収納証明書」部分を切り取り、  
 入試要項などの指示に従って郵送してください。  
 (※お客様控えは、郵送せずお手元大切に保管をしてください。)

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は  
 使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※申込み時に入力した**8桁の番号**が  
 収納証明書に印字されていることを  
 確認してください。

【入試・出願に関するお問い合わせ先】 募集要項に記載の連絡先へお問い合わせください。

【検定料の払込に関するお問い合わせ先】 埼玉大学 経理課出納担当 TEL 048-858-3942 (受付時間) 平日9:00~17:00

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/e/guide/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。